



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社ヨンキュウ 上場取引所 東
 コード番号 9955 URL <http://www.yonkyu.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）笠岡 恒三
 問合せ先責任者 （役職名）経理部長兼経営企画課長 （氏名）善家 富夫 TEL 0895-24-0001
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	30,253	7.3	1,447	19.7	1,679	19.7	886	17.5
25年3月期第3四半期	28,207	4.4	1,209	41.2	1,402	41.1	754	30.2

（注）包括利益 26年3月期第3四半期 973百万円（28.2%） 25年3月期第3四半期 758百万円（28.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	76.94	—
25年3月期第3四半期	65.50	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	26,879	21,135	78.6	1,834.17
25年3月期	23,936	20,300	84.8	1,761.71

（参考）自己資本 26年3月期第3四半期 21,135百万円 25年3月期 20,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	12.00	12.00
26年3月期	—	—	—		
26年3月期（予想）				10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,470	5.6	1,350	0.1	1,530	△6.3	976	3.5	84.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	11,556,084株	25年3月期	11,556,084株
26年3月期3Q	32,939株	25年3月期	32,739株
26年3月期3Q	11,523,267株	25年3月期3Q	11,523,391株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）におけるわが国経済は、政府・日銀による財政・金融政策などを背景に、円安の進行による輸出関連企業を中心とした業績の好転、消費税増税前の駆け込み需要などによる内需の増加により、景気の回復基調が確認できる状況となりました。

また、養殖業界におきましては、昨年の天然稚魚不漁による稚魚池入れ減少を受け、養殖魚の総在池量は低水準であることから、ハマチ・カンパチの魚価は高値基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループでは、引き続き、新規市場の開拓など国内市場における販売シェア向上と業務の効率化・コスト削減に努めてまいりました。また、新規事業（うなぎ養殖事業）に係る設備建設計画などにも注力してまいりました。

その結果、「鮮魚の販売事業」では、魚価が回復、稚魚の販売数量も増加いたしました。また、「餌料・飼料の販売事業」でも、販売数量が増加したことにより、売上高は両事業で増収となりました。

利益面では、稚魚及び生餌などの販売数量の増加に加え、魚価の回復により販売費及び一般管理費に計上している貸倒引当金の戻入れ（前年同期は繰入2億38百万円から当期は戻入れ14百万円の計上）により、各利益は増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は302億53百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は14億47百万円（前年同期比19.7%増）、経常利益は16億79百万円（前年同期比19.7%増）、四半期純利益は8億86百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

セグメントの名称	平成25年3月期 第3四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	平成26年3月期 第3四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	対前年同期比較	
			金額差異 (百万円)	増減率 (%)
鮮魚の販売事業	18,619	19,537	918	4.9
餌料・飼料の販売事業	9,457	10,619	1,161	12.3
その他の事業	130	97	△33	△25.5
合 計	28,207	30,253	2,046	7.3

（注）セグメント間の取引については、相殺消去しております。

「鮮魚の販売事業」では、ハマチ・カンパチは魚価が高値基調で推移したことから販売数量は減少しましたが、販売価格が上昇したことにより増収となりました。一方、利益面では販売数量の減少と燃料費・運行費等のコスト増の影響により減益となりました。

この結果、売上高は195億37百万円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は1億25百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

「餌料・飼料の販売事業」では、販売数量の増加と販売価格の上昇に加え、貸倒引当金の戻入れなどもあり、増収増益となりました。

この結果、売上高は106億19百万円（前年同期比12.3%増）、セグメント利益は14億8百万円（前年同期比31.2%増）となりました。

「その他の事業」では、売上高は97百万円（前年同期比25.5%減）、セグメント損失は36百万円（前第3四半期連結累計期間はセグメント利益19百万円）となりました。

なお、セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は224億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億39百万円(13.4%)増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の増加(59億80百万円から86億70百万円となり、26億90百万円増加)等によるものであります。

固定資産合計は44億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億3百万円(7.3%)増加いたしました。これは主に無形固定資産ののれんは減少(3億4百万円から2億34百万円となり、70百万円減少)しましたが、投資有価証券の購入等により、投資その他の資産のその他が増加(25億41百万円から29億21百万円となり、3億79百万円増加)したことによるものであります。

この結果、資産合計は268億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億42百万円(12.3%)増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は55億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億56百万円(59.4%)増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加(28億17百万円から44億1百万円となり、15億84百万円増加)と未払法人税等の増加(2億85百万円から5億43百万円となり、2億58百万円増加)等によるものであります。

固定負債合計は2億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円(30.3%)増加いたしました。

この結果、負債合計は57億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億8百万円(58.0%)増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は211億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億34百万円(4.1%)増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加(148億96百万円から156億45百万円となり、7億48百万円増加)とその他有価証券評価差額金の増加(1億7百万円から1億94百万円となり、86百万円増加)によるものであります。

この結果、自己資本比率は78.6%(前連結会計年度末は84.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しとしましては、前述のとおり、昨年低調に推移したハマチ・カンパチの魚価も高値基調にあり、また、消費動向も改善傾向を示しております。

このような状況のなか、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上、利益共にほぼ計画通りに推移しており、平成25年5月10日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、今後「業績予想の修正等」に関する開示の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,233,826	12,992,639
受取手形及び売掛金	5,980,057	8,670,570
商品及び製品	359,620	430,805
仕掛品	260,710	265,543
貯蔵品	11,839	13,351
短期貸付金	789,628	838,584
その他	105,124	105,131
貸倒引当金	△969,964	△906,113
流動資産合計	19,770,842	22,410,513
固定資産		
有形固定資産	1,877,140	1,917,235
無形固定資産		
のれん	304,692	234,378
その他	2,152	2,084
無形固定資産合計	306,844	236,463
投資その他の資産		
その他	2,541,791	2,921,728
貸倒引当金	△560,278	△606,712
投資その他の資産合計	1,981,512	2,315,015
固定資産合計	4,165,498	4,468,714
資産合計	23,936,340	26,879,228
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,817,627	4,401,672
未払法人税等	285,869	543,897
賞与引当金	16,750	4,262
その他	344,246	571,116
流動負債合計	3,464,493	5,520,948
固定負債		
退職給付引当金	153,044	150,275
役員退職慰労引当金	17,920	34,477
その他	—	38,075
固定負債合計	170,965	222,827
負債合計	3,635,458	5,743,776

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,187,615	2,187,615
資本剰余金	3,124,310	3,124,310
利益剰余金	14,896,827	15,645,123
自己株式	△15,889	△16,136
株主資本合計	20,192,863	20,940,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107,956	194,517
その他の包括利益累計額合計	107,956	194,517
少数株主持分	62	22
純資産合計	20,300,881	21,135,451
負債純資産合計	23,936,340	26,879,228

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	28,207,041	30,253,934
売上原価	24,037,704	26,086,923
売上総利益	4,169,336	4,167,011
販売費及び一般管理費	2,959,916	2,719,860
営業利益	1,209,419	1,447,151
営業外収益		
受取利息	89,061	84,787
受取配当金	7,716	17,208
投資不動産賃貸料	32,431	26,743
投資事業組合運用益	17,113	68,539
その他	73,696	60,949
営業外収益合計	220,020	258,229
営業外費用		
投資不動産賃貸費用	15,004	14,724
投資事業組合運用損	7,556	1,612
その他	4,343	9,852
営業外費用合計	26,904	26,189
経常利益	1,402,536	1,679,191
特別利益		
固定資産売却益	3,927	6,181
特別利益合計	3,927	6,181
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	1,634	1,509
投資有価証券評価損	2,236	800
役員退職慰労金	99,590	—
特別損失合計	103,462	2,312
税金等調整前四半期純利益	1,303,000	1,683,060
法人税、住民税及び事業税	462,260	802,730
法人税等調整額	85,903	△6,206
法人税等合計	548,163	796,523
少数株主損益調整前四半期純利益	754,837	886,536
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	46	△40
四半期純利益	754,790	886,576

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	754,837	886,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,149	86,560
その他の包括利益合計	4,149	86,560
四半期包括利益	758,986	973,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	758,940	973,137
少数株主に係る四半期包括利益	46	△40

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,619,017	9,457,841	28,076,858	130,182	28,207,041	—	28,207,041
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	136,331	136,350	208,523	344,873	△344,873	—
計	18,619,035	9,594,173	28,213,209	338,706	28,551,915	△344,873	28,207,041
セグメント利益	158,035	1,073,579	1,231,614	19,226	1,250,841	△41,421	1,209,419

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業(一般貨物運送事業、マグロ養殖事業及びうなぎ養殖事業)であります。

2. セグメント利益の調整額△41,421千円には、セグメント間取引消去における内部利益△2,457千円、のれん償却額△70,313千円及びその他の調整額31,349千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間において、新会社「株式会社西日本養鰻」(当社100%出資子会社)を設立いたしました。これによる報告セグメントの変更等はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,537,667	10,619,223	30,156,890	97,043	30,253,934	—	30,253,934
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,732	127,930	160,662	137,016	297,679	△297,679	—
計	19,570,399	10,747,153	30,317,553	234,060	30,551,614	△297,679	30,253,934
セグメント利益又は 損失 (△)	125,519	1,408,173	1,533,693	△36,608	1,497,084	△49,933	1,447,151

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業（一般貨物運送事業、マグロ養殖事業及びうなぎ養殖事業）であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△49,933千円には、セグメント間取引消去における内部利益△8,260千円、のれん償却額△70,313千円及びその他の調整額28,641千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。